

研究課題名	遺伝性びまん性胃癌の内視鏡発見可能病変、未発見病変の臨床病理学的特徴の研究
研究期間	実施許可日 ～ 2028年3月31日
研究の対象	2017年1月1日～2025年2月13日の間に広島大学病院、独立行政法人国立病院機構呉医療センター、一般財団法人防府消化器病センター、広島市民病院で遺伝性びまん性胃癌（HDGC）と診断され胃全摘術が施行された方。
研究の目的・方法	研究目的：内視鏡的に発見可能な病変と発見困難な病変の実態を明らかにすることです。 研究の方法：胃全摘組織標本、内視鏡画像を使用して、内視鏡で検出された病変と、追加で発見された病変の病理組織学的特徴を比較します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：性別、年齢、既往歴、生活歴、遺伝子変異情報、内視鏡画像 試料：手術で摘出した組織標本 試料・情報の管理責任者：広島大学病院内視鏡診療科 教授 岡 志郎
利用または提供を開始する予定日	2025年3月26日※（実施許可日）以降
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	広島大学から他機関への提供はありません。 共同研究機関から広島大学へは、試料は手渡しにて、患者情報については、パスワードを設定したデータをメールで受け取る方法を採用します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院内視鏡診療科 教授 岡 志郎 研究代表者 広島大学病院内視鏡診療科 教授 岡 志郎 共同研究機関 独立行政法人国立病院機構呉医療センター科 科長 吉田成人 一般財団法人防府消化器病センター 部長 藤原純子 地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 内視鏡内科 主任部長 中川昌浩

	<p>試料・情報の提供元機関およびその長 独立行政法人国立病院機構呉医療センター 病院長 繁田正信 一般財団法人防府消化器病センター 病院長 三浦 修 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 病院長 秀道広</p> <p>業務委託先：なし</p>
<p>その他</p>	<p>なし</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 消化器内科 担当者：宇田昂弘 ト部祐司 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5465</p>